



「やりたい」と「応援したい」が
「遭遇する」まちづくりファンド

おがわ よしひろ

小川由廣のライオン像 移設プロジェクト

第二弾

柏崎のライオン像で、

“街と街”、“人與人”、そして後世へとつなげたい

このプロジェクトについて

柏崎市の彫刻師・小川由廣(昭和 30 年没)が作ったライオン像が柏崎市内のあちこちに現存しています。彼の作品は神社仏閣に奉納されているものが主となりますが、個人が所有されているものも多々あります。今回、市内で3番目に大きなライオン像の所有者が亡くなられ、今後の処遇を心配していたところ、相続された方から「無償で譲渡するので観光に役立ててほしい」と託されたのです。このプロジェクトは、今まで非公開だった個人宅から浄敬寺境内への移転と台座新設の費用捻出のために行います。「地球の歩き方 新潟版」でも「柏崎市のシンボルとなりうる」と紹介されたライオン像を多くの方にご覧頂くため、皆さまのお力をお貸し下さい。

支援をお願いする理由

第一弾では 285 名の方々からご支援を賜りました。心より御礼を申し上げます。しかし、移転費と台座の新設費用には届かず、今年の年末まで今一度ご支援を呼びかけることになりました。次の世代へと繋げるためにも、今回の挑戦にご協力をお願い致します。

▶ 今までの活動

発起人の春口敏栄は、2018 年頃より小川由廣の調査を始め、自身の担当する新聞のコラム、ラジオ番組、観光協会の HP で情報を発信。また、講演会や写真展を開催し、由廣の作品群の認知拡大の為の活動を続けてきた。2026 年に発売された「地球の歩き方 新潟」では、柏崎のライオン像が「柏崎の文化発信のシンボルとして注目される」と紹介された。



代表者からのメッセージ



春口敏栄さんが、町歩き中に神社や民家でたくさん作品を発見しました。数年かけてこれらを整理し、冊子の発刊、市民大学での講義、ロビー展などを続けたおかげで、柏崎市内でもようやく彼の作品を知る人が増えてきました。今回の寄付により沢山の皆様から愛でて頂ける場所への移設が実現できます。躍動的なライオン像を、柏崎観光のシンボルの代表として後世に残すため、是非お力添えをお願い致します。

小川由廣のライオン像移設プロジェクト 代表
押見 正孝

詳しい内容・寄付先のご案内

かしわざき市民活動センターまちからを運営する NPO 法人 aisa が、まちづくりファンド「そーぐう」のサイトにて本プロジェクトの内容説明や、寄付受付をしています。詳しくは右記の二次元コードからご確認ください。



プロジェクトの
お問い合わせ norinocc@coral.ocn.ne.jp

「そーぐう」に関するお問い合わせは TEL:0257-22-2003
かしわざき市民活動センターまちからまで